

「自然災害から自分の命を守るために」の活用等について

学校安全・体育課

1 活用方法等について

- テキスト配布の際、必ず名前を記入させてください。
- 最終ページに家族で確認する欄を設けていますので、一旦家庭に持ち帰らせ、家族で確認・記入するよう指導願います。
- 記入後は、いつでも活用できるよう教室に常備させてください。
- 本テキストには、災害に対する正しい知識が身につくよう、県内で発生が想定される「地震・津波災害」「豪雨・土砂災害」「台風・高潮災害」の発生メカニズムや、自ら安全に行動できるよう、災害発生時の対応等を示しています。各教科での関連した学習時はもとより、防災訓練時、台風接近時の朝礼や終礼、他県での大規模災害発生時等、時機を捉えて繰り返し活用してください。
- 「防災教育ハンドブック」や「危険予測学習（KYT）資料集」、「防災訓練事例集」等を併用しながら、効果的に防災教育を推進してください。

2 語句説明及び参考データ等について

テキスト中の語句については、児童生徒の発達段階に応じて、指導者が解説しながら学習を進めてください。

語 句	意 味
マグニチュード	地震そのものの規模（大きさ）を表す単位。 マグニチュードが1増えると地震のエネルギーは32倍になり、2増えると1000倍になる。
震度	ある地点での「揺れ」の強さの程度を表す階級。震源に近い場所や、震源が浅い場合では震度が高くなる。
震源・震央	地震が発生した地下の場所を震源といい、震源の真上の地表部分を震央という。
トラフ	細長い海底盆地で、深さが6000m以下のもの。（深さ6000m以上のものは海溝）
気象情報の「注意報」と「警報」	注意報：災害が起こる恐れがある場合に注意を促す予報。 警 報：重大な災害の起こる恐れがあることを警告する予報。

<山口県で想定される大規模災害とその被害想定>

災 害	被 害 想 定 等
南海トラフ巨大地震	地震の規模：M9.1 最大震度6強（岩国市） 津 波 高：最大津波高5m（山口市、光市、柳井市、周南市、平生町） 最短津波到達時間92分（柳井市） 被 害 想 定：死者数約200人 負傷者数約1,800人 全壊棟数約4,800棟 (H24.8 内閣府)
大竹断層	地震の規模：M7.2 最大震度7（6弱以上 岩国市、和木町、光市、周南市など9市町） 被 害 想 定：死者数1,507人 負傷者数4,789人 全壊棟数21,454棟
菊川断層	地震の規模：M7.0 最大震度7（6弱以上 下関市、山陽小野田市、美祢市など5市） 被 害 想 定：死者数245人 負傷者数2,076人 全壊棟数4,620棟
大原湖断層系 （宇部東部断層等）	地震の規模：M7.0 最大震度7（6弱以上 宇部市、山口市、美祢市など6市） 被 害 想 定：死者数1,000人 負傷者数6,557人 全壊棟数15,303棟 (H19 山口県地震被害想定調査報告書)
高潮	〈過去最大規模の台風が再び最悪のコースを通過した場合〉 最 高 潮 位：5.49m（山陽小野田市植生） (H24 山口県地域防災計画)

<土砂災害危険箇所の多い都道府県>

1位：広島県（31, 987箇所） 2位：島根県（22, 296箇所） 3位：山口県（22, 248箇所）